

「第 38 回毎日カップ中学校体力づくりコンテスト調査票」記入についての手引き

アンケート「調査票」は、新体力テストのデータをもとに、審査員が校長先生、体育主任の先生方にお話を聞く「現地審査校」を選定する際に参考にします。今年の現地審査は、学校を訪問する予定です。

この「手引き」は本調査のねらいや記入すべき項目を挙げています。記入の際に参考にしてください。

なお、回答は調査票フォームに記入してください。

1. 学校運営の中での「生徒の体力づくり（向上も含む）」の位置づけと目標及び「カリキュラム・マネジメントの充実（地域・家庭との連携）」についてお書きください。

生徒の体力向上への取り組みの概要について、学校教育目標の中での位置づけなどがあれば学習指導要領総則との関連を踏まえてお書きください。

※中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説【総則編】

P40～46 カリキュラム・マネジメントの充実（第 1 章第 1 の 4）↓をご確認ください。

https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/fieldfile/2019/03/18/1387018_001.pdf

また、具体的な目標についてもお書きください。体力づくりに当たり、家庭や地域社会との連携をどう図っていますか。

※参照：【総則編】P43（ウ）教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくこと

2. 学校での体力向上への取り組みについてお聞きます。

①学校教育全体で取り組んでいるものについては、次の項目の中から力点を置いているものを踏まえてお答えください。

「体育・健康に関する指導」「学級活動、学校行事、総合的な学習の時間」「運動・文化部活動」「教育課程外の活動」など

※参照：【総則編】P42（ア）教科等横断的な視点

②保健体育科の授業で工夫しているものについては、次の項目の中から力点を置いているものを踏まえてお答えください。

「新学習指導要領への対応」「指導と評価の一体化の推進」「体づくり運動領域の充実」「その他の領域での知識の指導の充実」「教材や教具の工夫」「運動を好きにする工夫、手だてを要する生徒への配慮、実生活で継続的に取り組むための工夫」など

③運動の行い方や健康・安全の確保の仕方などの科学的知識を基に、体力向上を図るための指導について工夫しているものについては、次の項目の中から力点を置いているものを踏まえてお答えください。

「ねらいに合致した運動メニューの選択」「食事、睡眠、休養などについての知識」「運動の原則を踏まえた正しい実践」「準備運動や整理運動の意義」「熱中症対策」「運動性疾患への対策」「適切

な運動強度への配慮」など

④体力測定データの活用方法については、次の項目の中から力点を置いているものを踏まえてお答えください。

「個別の課題分析と目標設定」「体力測定データに基づく運動頻度、時間、期間の修正」「動機づけ」「自信の獲得」など

また、データを活用して運動習慣の低い生徒に対して指導をしている場合は、次の項目の中から力点を置いているものを踏まえてお答えください。

「健康のための体力の必要性」「運動習慣を定着させる工夫」「運動意欲や自主性、自発性を高める工夫」「時間、仲間、空間などの確保」など

3. 前述の設問1、2で回答したことを踏まえて、体力向上への取り組みの成果や波及効果（学力、健康、寛容の心、意欲、学校生活の質の向上、道徳心等）と考えられるものについては、次の項目の中から力点を置いているものを踏まえてお答えください。

「体力向上によって得られた生徒の変化や学習意欲の向上」「生徒間のかかわり合い」「学校教育目標の実現状況」その他。

前年度との比較。前年度はどんな弱点があり、その克服のためどんな工夫をしたか。3年生同士の比較か、現在の3年生の2年次との比較かどちらか分かるように記入してください。2年次と比較しての生活の変化をどう分析しているか

4. 体育の授業や部活動その他の体力づくりの取り組みの中で、けが防止のためどのような対策を実施したか、お答えください。

できるだけ具体的にお書きください。

5. 自由記述です。審査員が最も重視する項目の一つです。しっかり書き込んでください。 以上